



## 自然・文化・経済部会資料

### 施策4-1-3 中小企業の競争力強化と 活力ある産業集積の形成

経済労働局  
平成30年5月

#### 資料をご覧ください上での注意事項

この資料は、平成30年5月28日に行われた平成30年度川崎市政策評価審査委員会第3部会の資料ですが、資料の一部について、平成30年8月の時点の最新のものに更新しており、その部分については、資料中に注記を加えております。

## 施策の概要

概要 背景 取組 成果 まとめ

**基本政策(1層)** 活力と魅力あふれる力強い都市づくり

**政策(2層)** 川崎の発展を支える産業の振興

**施策(3層)** 中小企業の競争力強化と活力ある産業集積の形成

#### 直接目標

市内中小企業の技術を活かして事業展開できる環境を整備することで、経営を改善し、成長を促進させる

#### 主な事務事業

知的財産戦略の推進	間接融資事業
ものづくり中小企業経営革新等支援事業	先端産業等立地促進事業
ものづくり中小企業販路開拓支援事業	対内投資促進事業
かわさきブランド推進事業	内陸部操業環境保全対策事業
事業承継・事業継続支援事業	
川崎市産業振興財団運営費等補助事業	



# 実施計画に位置付けた成果指標

概要 背景 取組 成果 まとめ

## 成果指標①

### 製造品出荷額等

算出方法	工業統計調査の直近3か年の平均値			
指標の考え方	製造品出荷額等は1年間の「製造品出荷額」、「加工賃収入額」、「製造工程から出たくず及び廃物」の出荷額と「その他の収入額」の合計の数値であるため、その変化を見ることで、起業の経営を改善し、成長を促進するための取組の成果を測ることができる。			
指標の目標値	4兆2,968億円 (H23～H25平均)	4兆2,968億円以上 (H27～H29平均)	4兆2,968億円以上 (H31～H33平均)	4兆2,968億円以上 (H35～H37平均)
目標値の考え方	素材型の大企業の経営統廃合や、市内事業所数の減少も見込まれるなど、複数の減少要因がある中で、過去3年間の平均値(政令指定都市トップ)の水準を維持していくことをめざす。			

## 成果指標②

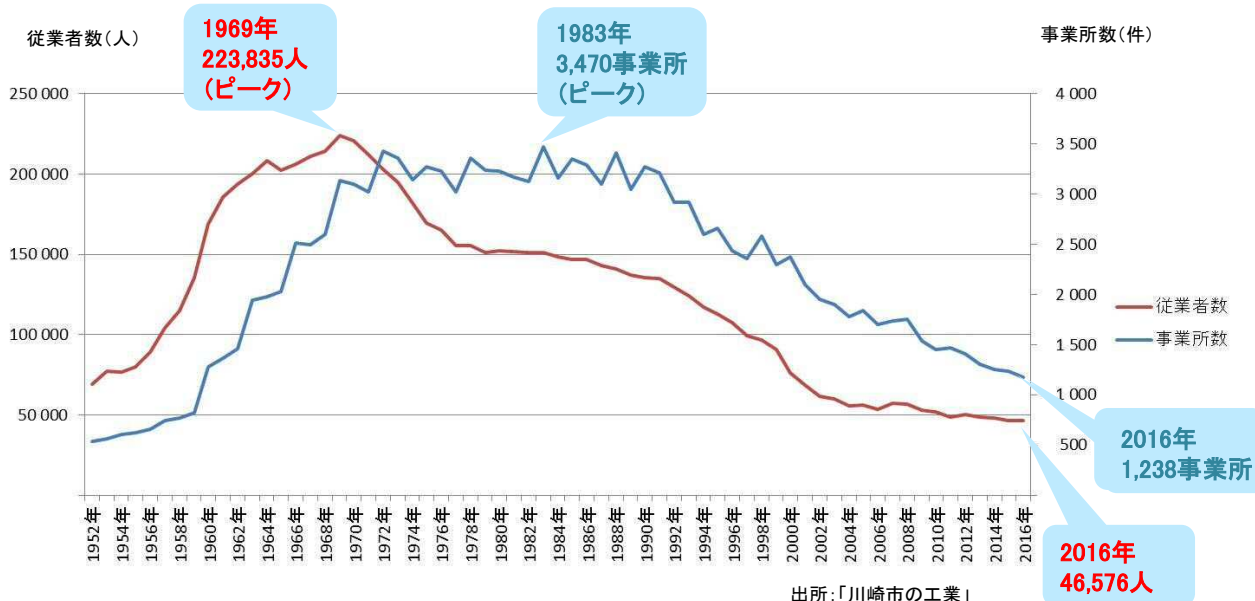
### 知的財産交流会におけるマッチングの年間成立件数

算出方法	年度ごとのマッチング成立件数を交流会後のフォローアップにて把握			
指標の考え方	地域経済を担う中小企業が、将来にわたって持続的に成長発展していくためには、自社製品開発や技術の高付加価値化など、新たな事業展開に挑戦することが求められることから、大企業が保有する開放特許等の知的財産を中小企業に移転した件数をみることで、中小企業の新事業展開の取組成果を測ることができる			
指標の目標値	4件(H26)	4件以上(H29)	4件以上(H33)	4件以上(H37)
目標値の考え方	市の知的財産交流会が「川崎モデル」として国や他の自治体等から注目されていることから、今後も全国モデルの主導として成果を連続的に創出していくことを目標とする。			

# 川崎市の製造業の事業所数、従業者数の推移

概要 背景 取組 成果 まとめ

- 製造業の事業所数、従業者数は減少傾向
- 国際競争の激化に伴い、国内大手企業による生産拠点の海外移転が進むなど、市内中小企業にとって厳しい経営環境



# 市内中小企業の経営改善・基盤強化

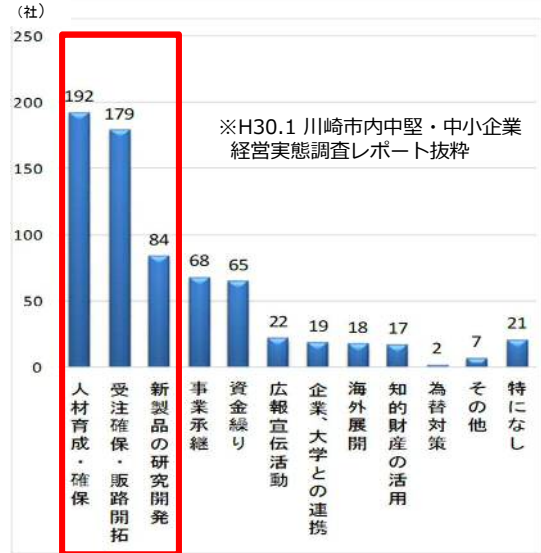
- 人口構造や産業構造の変化、社会を変革するような様々な技術の進展など、中小企業を取り巻く経営環境は厳しさを増していることから、経営改善や基盤強化に取り組む中小企業に対して課題に応じた支援が求められている。

## ◆ 中小企業の経営課題

我が国の経済を牽引する工業として発展してきた本市には、優れた製品や技術を持つ中小企業が数多く集積しているが、一方で多くの中小企業は資金力や人材における課題の他、新たな事業展開に多くのリスクを抱えている。

### 【市内中小製造業の主な経営課題】

- ① 人材育成・人材確保
- ② 受注確保・販路開拓
- ③ 新技術・新製品の研究開発



# 中小製造業を取り巻く操業環境

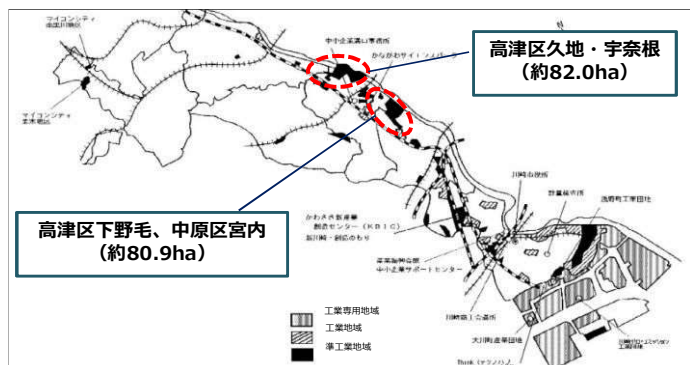
- 市内の多くの中小製造業が事業所の老朽化や近隣の住宅地化など立地上の課題を抱えているが、市内には工業系の用地が非常に少なく、希少な工業系用途地域においても、工場跡地は住宅地化し、工場を操業できる場所が減少している。

## ◆ 中小製造業の集積と希少な工業系用途地域

臨海部の工業専用地域を除くと、市内の工業系の用地は非常に少なく、中小製造業の集積地は、内陸部の工業系用途地域に集中している。

	事業所数	割合 (%)
川崎区	377	32.1
幸区	106	9.0
中原区	182	15.5
高津区	270	23.0
宮前区	102	8.7
多摩区	76	6.5
麻生区	61	5.2
合計	1,174	100.0

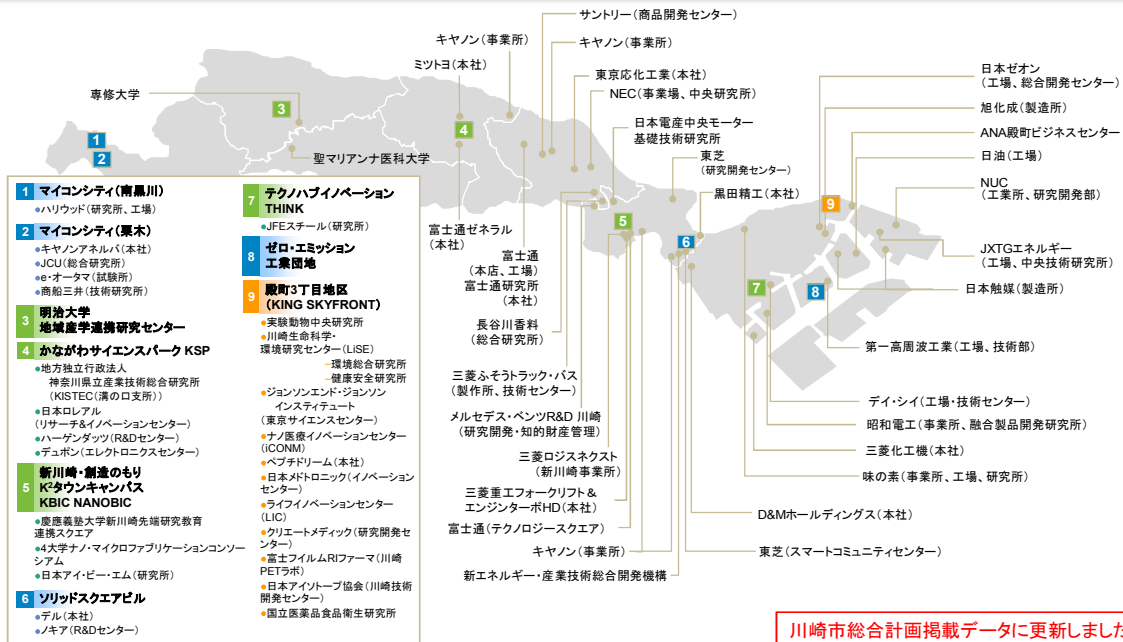
※H29年川崎市工業統計  
従業者4人以上の事業所



# 川崎市の産業基盤

概要 背景 取組 成果 まとめ

- 優れた技術を持つ企業や専門人材、約400の研究開発機関が集積、首都圏における地理的優位性
- 環境、ライフサイエンス、ウェルフェアなど先端産業の集積が進展



施策4-1-3 中小企業の競争力強化と活力ある産業集積の形成



7

# 知的財産戦略の推進①

概要 背景 取組 成果 まとめ

- 川崎市知的財産戦略の改定（2018年度～2025年度）
- 知的財産シンポジウムの開催（テクノトランスファー併催事業）
- 知的財産交流会の開催（平成29年度 10回開催 参加企業 173社）
- 知的財産コーディネーター派遣による事業化・市場化支援の展開
- 知的財産スクールの開催（平成29年度 6回開催）



知的財産シンポジウムの開催状況  
（平成29年7月14日 59社68名参加）



知的財産スクールの開催状況  
（平成29年6月15日 「下町ロケット」にみる  
中小企業の特許戦略と事業競争力のリンク）



施策4-1-3 中小企業の競争力強化と活力ある産業集積の形成



8

## 知的財産戦略の推進②

概要 背景 取組 成果 まとめ

- 市の知的財産交流会が「川崎モデル」として国や他の自治体等からも注目されていることから、他都市との連携が広がりにつつある。

知的財産交流事業での他都市との連携状況



## ものづくり中小企業経営革新等支援事業

概要 背景 取組 成果 まとめ

市内中小企業の様々な経営課題に対して、ニーズに応じた支援を実施する。

### 主な取組

#### ○がんばるものづくり企業応援補助金（13件採択）

「小規模事業者の安定した経営活動の継続に資する取組」  
「中小企業等の情報発信力の強化、販路開拓」に係る経費を補助



摩擦圧接工法における加工  
条件設定効率化と品質安定化  
(株) 大矢製作所

#### ○産学共同研究開発プロジェクト補助金（3件採択）

今後、成長が見込まれる新産業分野において、市内中小企業等と大学・研究機関等との共同研究開発に要する経費の一部を助成



牛の生体情報  
リアルタイム検知システム  
(株) 協同インターナショナル

#### ○新技術・新製品開発等支援事業補助金（4件採択）

市内中小製造業者が単独または複数の連携先と共同で行う  
新技術、新製品開発に要する経費の一部を助成



平面振動板型スピーカーの  
軽量化・生産技術確立  
S'NEXT (株)

# ものづくり中小企業販路開拓支援事業

概要 背景 取組 成果 まとめ

市内中小企業の様々な経営課題に対して、ニーズに応じた支援を実施する。

## 主な取組

### ● 中小製造業合同出展

販路拡大や受注機会拡充に向け、「テクニカルショーヨコハマ2018」に46社・団体による共同出展を実施。



アンケート結果では共同出展企業の約75%が効果があったと回答

# かわさきブランド推進事業

概要 背景 取組 成果 まとめ

市内中小企業の様々な経営課題に対して、ニーズに応じた支援を実施する。

## 主な取組

### ● 川崎ものづくりブランド

市内中小企業の優れた工業製品や加工技術等を認定し、国内外へ情報発信し、販路拡大を支援。現在84件の製品・技術を認定。



おにぎり自動成型機 RB-SSS  
市川工業（株）（幸区）



超小型IoT センサーモジュール「μPRISM」  
エレックス工業（株）（高津区）

平成29年度は新たに10件の製品・技術を認定

# 事業承継・事業継続支援事業

概要 背景 取組 成果 まとめ

○市内中小企業の技術力や経営資源を将来にわたり、維持・発展させるため、中小企業の円滑な事業承継及び経営革新を支援

## 事業承継の主な取組

### 事業承継支援に関する連携協定の締結

○川崎商工会議所、川崎信用金庫、(公財)川崎市産業振興財団と4者で協定を締結(平成29年12月12日)

#### 【締結内容】

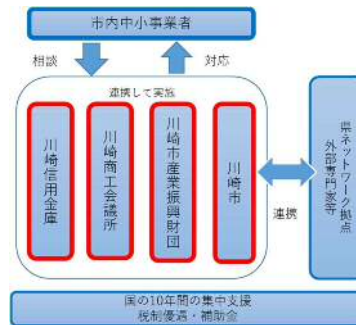
- ・中小企業への啓発及び広報の協力実施
- ・支援対象者に関する情報の収集及びに共有
- ・支援対象者に対する指導相談ならびに助成、融資等の実施
- ・専門家情報の共有

### ・連携協定の締結(平成29年12月)



神奈川新聞掲載

### ・事業承継支援スキーム



### 中小企業に対する事業承継支援事業

- 事業承継に関する相談窓口
  - ・専門家派遣事業(産業振興財団)
  - ・ワンディ・コンサルティング(産業振興財団)
  - ・セミナーの実施(平成30年3月)
  - ・事業承継診断・アンケートの実施(平成30年3月～)
- 事業承継計画策定、後継者育成に対する助成
  - ・ものづくり中小企業経営革新等支援事業(補助金)

# 川崎市産業振興財団運営費等補助事業

概要 背景 取組 成果 まとめ

- 川崎市産業振興財団運営費等補助事業では、中小企業の経営力・技術力の高度化や新事業創出を促進するため、国や県、地域の産業支援機関等と連携して多面的な支援を展開

## 産業振興財団の主な取組

○中小企業の経営・技術面に関するコンサルティング支援

- ・窓口相談 120件
- ・ワンディコンサルティング 320件
- ・専門家派遣 9社



○出張キャラバン隊による新事業分野でのビジネスマッチング等のコーディネート支援活動の実施

- ・マッチング件数 166社

○中小企業の技術の高度化・新分野進出、人材育成等を支援するため各種セミナー、研修の開催

- ・セミナー等開催数 28回



# 間接融資事業

概要 背景 取組 成果 まとめ

- 中小企業者等の円滑な資金供給を推進することにより、事業者の経営基盤の確立、健全な発展と振興に寄与することを目的とし、川崎市信用保証協会や金融機関と連携して間接融資制度に取り組んでいます。

## 【平成29年度実績】

■件数:2547件

■金額:326億円

「小規模事業資金」「経営安定資金」「振興資金」等の融資を実施

## 【平成30年度改正点】

■全9制度・28資金で対応

■制度の創設

◇危機対策資金

◇条件変更改善型借換資金

■制度の拡充

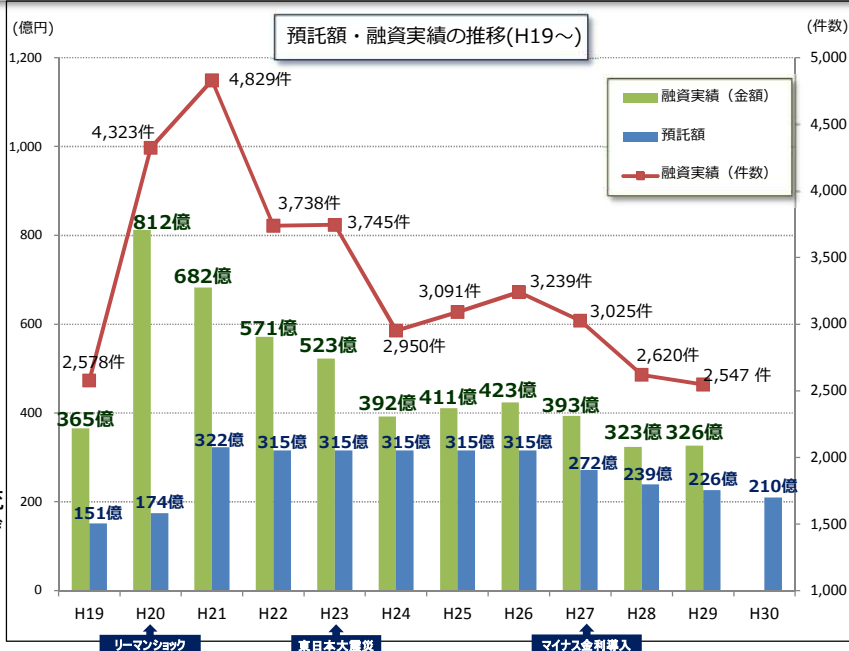
◇小口零細対応小規模事業資金の限度額を2000万円に拡充

◇創業支援資金

①融資限度額を3500万円に拡充

②市の補助と保証協会の引下げにより、信用保証料の借受者負担をゼロに

③融資利率の年0.3%の利下げ



# 先端産業等立地促進事業

概要 背景 取組 成果 まとめ

本市経済の牽引役である臨海部において、人類共通の課題解決と国際貢献に資する先端産業の創出と集積を促進し、市内産業の活性化を図る。

## これまでの実績

環境・エネルギー・ライフサイエンス分野の先端技術の事業化を支援する「先端産業創出支援制度（イノベート川崎）」を活用し企業誘致を推進

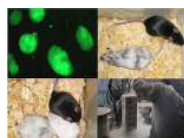
### エリーパワー(株) (川崎区)

- ①認定日：平成21年3月31日
- ②認定助成対象事業費：45億7,460万円
- ③確定助成対象事業費：43億9,264万円
- ④交付決定額：4億3,926万4千円
- ⑤事業内容：大型のリチウムイオン電池及び電池を組み合わせた蓄電システムの量産工場・研究開発拠点の新設



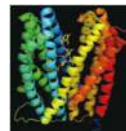
### 公益財団法人実験動物中央研究所 (川崎区)

- ①認定日：平成22年9月2日
- ②認定助成対象事業費：41億2,309万円
- ③確定助成対象事業費：34億9,965万円
- ④交付決定額：3億4,996万5千円
- ⑤事業内容：最先端実験動物の開発及びその活用による創薬や開発途上の先端医療の実現を図るための「再生医療・新薬開発センター」の新設



### ペプチドリーム(株) (川崎区)

- ①認定日：平成27年10月8日
- ②認定助成対象事業費：82億3,000万円
- ③確定助成対象事業費：68億1,619万円
- ④交付決定額：6億8,161万9千円
- ⑤事業内容：独自の創薬開発プラットフォームシステムPDPS (Peptide Discovery Platform System) を用いた「特殊ペプチド」による創薬研究開発を行うための研究所を新設



※先端産業創出支援制度（イノベート川崎）は平成28年度末で認定申請受付期間を終了



# 内陸部操業環境保全対策事業

概要 背景 取組 成果 まとめ

内陸部の工業系用途地域における、住民の住環境と企業の操業環境の調和を図り、市内ものづくり企業が将来にわたり市内で事業継続できる環境づくりを促進し、市内ものづくり産業の集積の維持・強化を図る。

## 主な取組

がんばるものづくり企業操業環境整備助成制度により、

- ①市内工場跡地等への市内外の成長意欲の高い中小製造業者の立地促進や、②市内中小製造業の操業環境の改善（防音・防振・脱臭対策等）を支援



### ①立地促進支援

助成対象者	中小製造業者
助成対象地域	市内の準工業地域及び工業地域 ただし、都市計画法により住宅等の建築が制限されている地区及びインキュベーション施設を除く
助成対象事業	○工場等を新増設する事業（既存の建物を賃借又は取得する場合を含む） ○助成対象経費の総額が500万円以上の事業
助成対象経費	○土地、建物、設備の取得等に要する費用（賃借料・リース料を含む） ○附属費用（土地造成費、測量費、設計費、改修費等） ○生産設備の運送及び設置に係る費用
助成率・限度額	助成対象経費の5分の1以内、限度額3,000万円

### ②操業環境改善支援

助成対象者	助成対象地域に工場を有する中小製造業者
助成対象地域	市内全域 ただし、工業専用地域、都市計画法により住宅等の建築が制限されている地区及びインキュベーション施設を除く
助成対象事業	○工場の操業環境の改善（防音・防振・脱臭対策等）に資する事業 ○助成対象経費の総額が10万円以上の事業
助成対象経費	防音・防振・脱臭等を目的とした設備の設置に係る費用、生産設備の改造・交換に係る費用、建物の改修工事に係る費用等
助成率・限度額	助成対象経費の4分の3以内、限度額300万円

平成29年度実績 申請件数 5件、交付見込額 111,000千円

平成29年度実績 申請件数 8件、交付決定額 13,080千円



施策4-1-3 中小企業の競争力強化と活力ある産業集積の形成



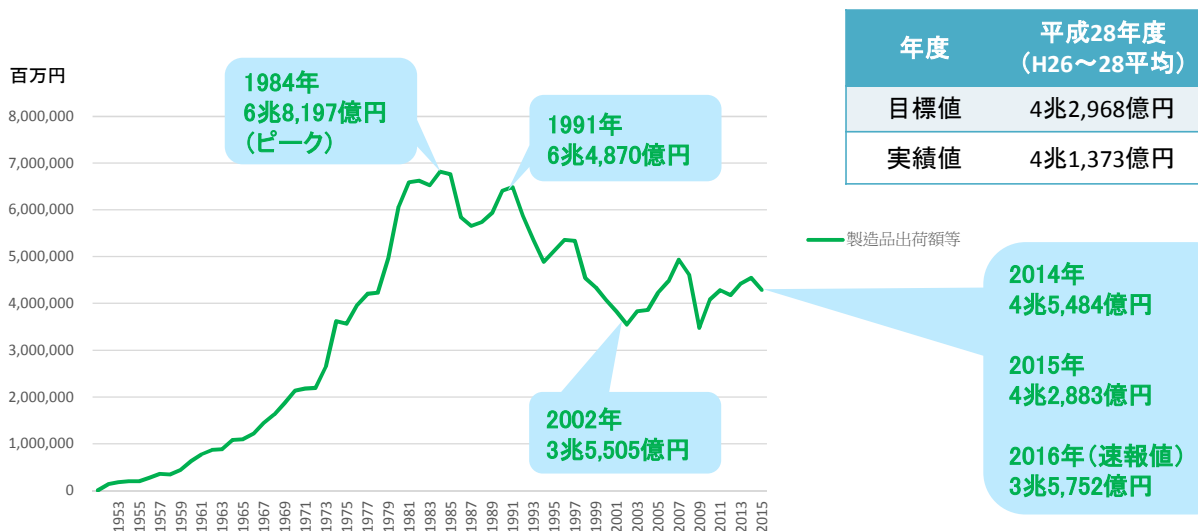
17

# 成果指標①の達成状況(目標未達成)

概要 背景 取組 成果 まとめ

## 本市の製造品出荷額等

- 2016年(平成28年)は速報値であるが、製造品出荷額等は前年度よりも減少。業種別内訳をみると、情報機器や業務用機器等では増加しているものの、石油、化学、鉄鋼等の減少が影響している。



出所:「川崎市の工業」



施策4-1-3 中小企業の競争力強化と活力ある産業集積の形成

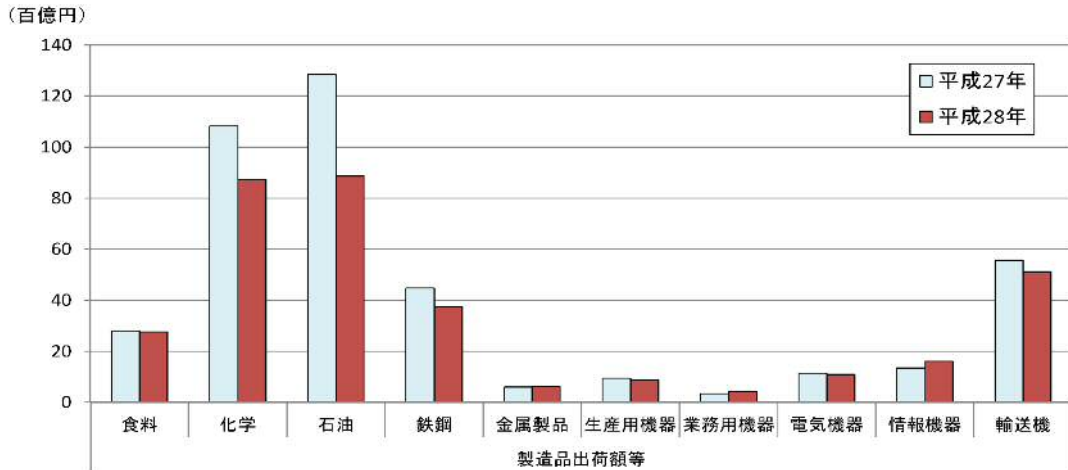


18

# 成果指標①の達成状況(補足資料①)

## 本市の主要10業種の製造品出荷額等前年比較

- 情報機器で268億円(前年比20.0%)増、業務用機器で93億円(同27.7%)増、金属製品で36億円(同6.0%)増と3業種で増加となっている。
- 一方、石油で3,986億円(同△31.0%)減、化学で2,093億円(同△19.3%)減、鉄鋼で735億円(同△16.4%)減など7業種で減少している。

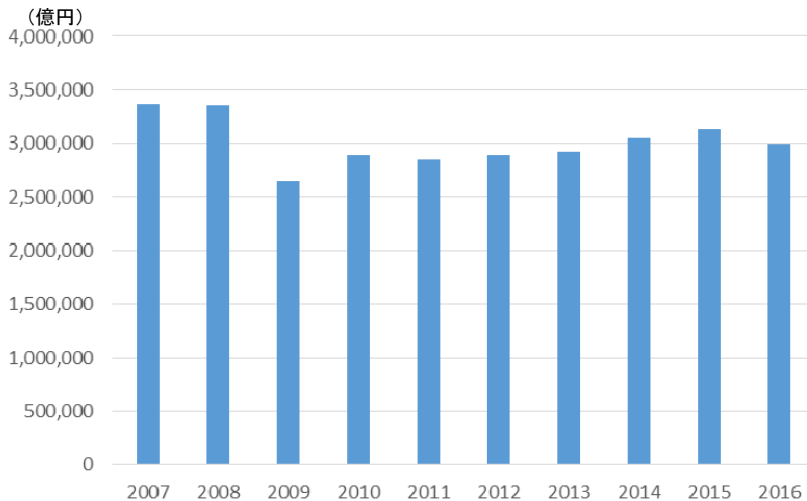


出所:「川崎市の工業(速報)」

# 成果指標①の達成状況(補足資料②)

## 国の製造品出荷額等

- 2016年(平成28年)は速報値であるが、製造品出荷額等は299兆1483億円で、前年の313兆1286億円から減少している。



出所:経済産業省「工業統計速報」

# 成果指標②の達成状況

概要 背景 取組 成果 まとめ

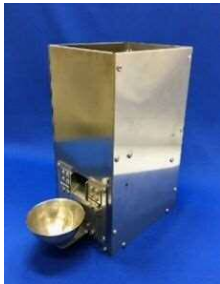
## 知的財産交流会におけるマッチングの年間成立件数

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
マッチング成立件数	1	3	2	3	2	4	2	4	1	3	4

### 知的財産マッチング事例①

プラスチックファスナーの定数供給装置  
(株)ミス × 日産自動車(株)

○生産ラインに流れてくる車種に応じて、必要な種類のプラスチックファスナーを必要な数だけ作業員に自動的に供給する装置を開発



### 知的財産マッチング事例②

パノショットR  
(株)和光計測  
(有)岩手電機製作所 × 清水建設(株)  
(有)津田山製作所

○天井屋根裏等の点検用に考案された360度撮影カメラ用の照明付架台



	H29
目標	4件
実績	4件
現状値	4件(H26)

# 施策の達成状況

概要 背景 取組 成果 まとめ

## 施策の達成状況

**B 一定の進捗があった**(目標未達成のものがあるが、一定の進捗があった)

### 理由

- ① 知的財産交流におけるマッチングの年間成立件数は、目標を達成しました。
- ② 平成28年度(H26～H28の平均)の製造品出荷額等については、目標を下回りました。平成26年、27年に比べ、28年の額が大幅に減少しており、業種別内訳をみると石油、化学、鉄鋼等の減少が影響し、これらは本市のみならず、全国的に減少しています。一方、情報機器や業務用機器等増加した業種もありました。
- ③ 事業承継・事業継続支援事業については、いまだ事業者の課題認識が不足していることなどもあり、補助金は活用されませんでした。新たに平成29年12月に市、商工会議所、産業振興財団、川崎信用金庫の4者で事業承継に係る協定を締結したほか、アンケートを通じた企業の実態調査を開始しました。
- ④ ものづくり中小企業販路開拓支援事業については、目標を超えた展示会への出展があり、市内中小企業に対する販路開拓支援を推進しました。

【施策の達成状況区分】 A 順調に推移(目標を達成)、B 一定の進捗があった(目標未達成のものがあるが一定の進捗があった)  
C 進捗が遅れた(現状を下回るものが多くあった)、D 進捗は大幅に遅れた(現状を大幅に下回った)

## 今後の方向性

### Ⅱ 概ね効果的な構成である(一部見直し等の余地がある)

#### 理由

- ① 配下事業については、概ね施策に貢献しており、若干改善を必要とするものも含まれますが、全て継続する方向です。
- ② 知的財産戦略の推進については、他都市との連携を強化しながら、継続してまいります。
- ③ 事業承継、事業継続計画(BCP)の策定や、新技術・新製品開発、展示会への出展等の補助金については、産業振興財団の窓口相談や企業訪問等と連携しながら、引き続き周知を図ってまいります。

【今後の方向性区分】 I 効果的な事業構成である(現状のまま継続する)、Ⅱ 概ね効果的な構成である(一部見直し等の余地がある)  
Ⅲ あまり効果的な事業構成でない(見直し等の余地が大きい)、Ⅳ 事業構成に問題がある(抜本的な見直し等が必要である)



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市